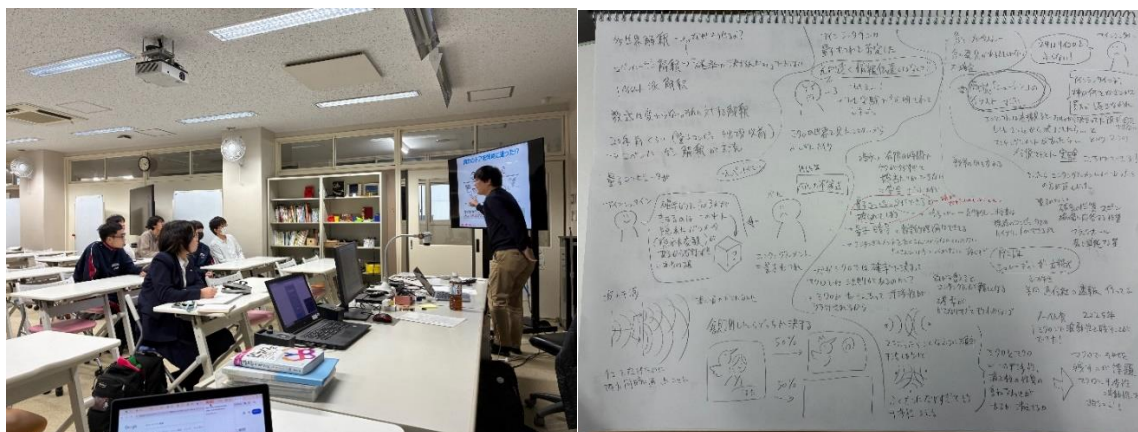


SSH ミニ講座【東京理科大学山本貴博教授】

アカデミックキャラバンで講演いただいた東京理科大学山本教授をお招きし、“アカデミックキャラバンで質問したかったが、時間の都合上叶わなかった” という1, 2年生の希望者7人を対象として、「量子の解釈について」「量子エンタングルメントについて」等生徒の質問に回答していただく内容で実施しました。

【当日の様子】



1 時間参加生徒の質問に回答いただきました

生徒のメモ

【参加生徒の振り返り】

- 量子力学についてほぼ知識ゼロの自分にもわかりやすく説明してくださったからわかりやすかった。
- とても勉強になりました。よくわかっていなかったところをはっきり理解することができた。鶴の恩返しで例えると量子の重ね合わせが分かりやすかった。例をたくさん出してくださったので理解がしやすかった。また、不確定性原理の図解がわかりやすいと感じた。やはり量子は面白くて、より興味が深まった。今度ニュートンも読んでみたいと思った。
- 興味を持っている量子力学について多くのことをお聞きできてよかった。将来取り組みたいと思っていた量子化学や核化学への興味が一層増した。
- とても興味深い話だとは思いましたが正直あまり理解が追いつけなかった。こんなに物理について熱く語れる人は初めて見た。先生はどうして、もともと文系だったのに物理が好きになって物理学者まで上り詰めようと思ったのか気になった。
- 解釈について話し合っていた疑問が解消され、更にそれぞれどのような違いがあるのか、そもそも解釈というのはどういうものなのかが分かってよかった。また、他の人の質問からも量子に関して面白いなと思う話が出て、参考になった。
- 講義で出た疑問や感想について時間を気にせずに聞けることがとても良かった。また書籍で得た上辺だけの知識を理解まで落とし込めたのでとても良い機会になった。ぜひ次回も参加したい。
- 量子がどのような原理のもので、どのような働きをしているのかをより深く知ることができた。特に、私が質問させていただいた「スピンとは何なのか」という説明について、今までは「自転する点の角運動量」という説明を聞くことが多く(それが理解が難しかった理由の一つなのですが)、今回の先生の「電子に磁力を働かせた際の電子の動きの方向」という説明によって、スピンのようなものであるのかを理解することができた。